

「他動詞 + “回(来/去)”」の形に反映された方向義

— 「取り戻す」「押し返す」意味を中心に —

丸尾 誠

1. はじめに

動詞“回”[(元の位置に) 戻る]を用いて表される動作主体(“施事”)の移動については、通常、起点と着点を同じくする¹⁾ 1つの完結した事象となっている。補語となった場合、その表す意味は「方向義」にとどまり、“上、下、起”など他の方向補語の場合にみられるような派生的な意味(抽象義)²⁾への広がりはみられない。こうしたこともあり、“回”は方向補語の中でも日本人学習者にとって一見その習得が困難ではないように思われるものの、中国語では次のような「引っ込める」(例(1))、「退ける」(例(2))といった行為を方向義と関連付けて“回”を用いて表現する点については、とりわけ対象(“受事”)が具象物ではない場合など、注意を要する点の1つである。

(1) 他把下面的话咽了回去。(《四世同堂：偷生》385)

[彼は続きの言葉を飲み込んだ]

(2) 把他的观点驳斥回去(《HSK词语用法详解》41)

[彼の見解を退ける]

本稿では「他動詞 + “回(来/去)”」の形を取り上げ、中国語で「戻す」イメージで捉えられる動作について、日本語の場合との相違に留意しつつ、みていく。

2. 元の場所に戻す場合

「他動詞 + “回”」における“回”は対象の動きに言及したものであり³⁾、同前の組み合わせで対象を「戻す」という働きかけを表すものである。まず、典型的な用法である対象を元の場所に戻す状況について、着点が動作主体自身であるか否かに分けてみる。

2. 1. 着点が動作主体以外のとき

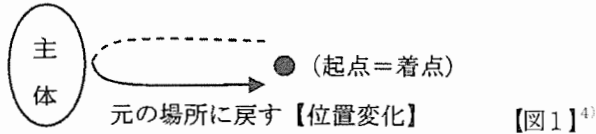
(3) 阅后请放回原处(《汉语动词用法词典》131)

[見た後に元の場所に戻して下さい]

(4) 扔回一个球 (《汉语动词用法词典》313)

[ボールを1つ投げ返した]

この状況を図示すると、次のようになる。



2. 2. 着点が動作主体自身の時

着点が動作主体自身の場合には、一旦手元から離れたものを再び主体が取り戻すという状況が表される。

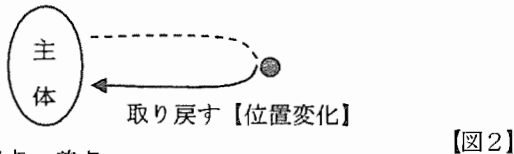
(5) 昨天发的文件收回来了 (《中国语补语例解》418)

[昨日配布した文書は回収した]

(6) 说不定他们又会把冠军夺回去 (《中国语补语例解》142)

[彼らがまた優勝を奪い返すかもしれない]

これを図示すると、次のようになる。



起点=着点

また、身体部位である手、足、首、舌などが対象の場合には、“V回”の形で伸ばした当該部分を「縮める」(例(7)～(9))あるいは通常的位置から「引き寄せる」(例(10)、(11))意味を表すことになる。

(7) 他把伸出去的手又缩回来了。(荒川2005: 130)

[彼は伸ばした手をまた引っ込めた]

(8) 他大胆的伸了伸酸疼的两条老腿，赶快又蜷回来；(《四世同堂：偷生》259)

[彼は思い切って年老いただるい両足を伸ばしたが、慌ててまた縮めた]

(9) 他调皮地把舌头伸了出来，马上又缩回去，……

(<http://www.eduzhai.net/wenxue/ddwx/shdzc/shangzao331.html>)

[彼はいたずらっぽく舌を出すと、またすぐに引っ込め、]

(10) 梅云清试图去握她的手。美霞的手缩回去了，……（《孽债》425）

[梅雲清は彼女の手を握ろうとした。美霞の手は引っ込められ、]

(11) 见没人搭话，她叹了口气，象蜗牛似的把头缩回去。（《四世同堂：惶惑》148）

[誰も話にのらないのを見て、彼女はため息をついて、カタツムリのように首を引っ込めた]

2. 3. 「取り消し」を表す場合

上記2. 2. に関連して、表現（言葉）、表情（笑顔）などの表出は「放出」というイメージで捉えられるものであり、次の例では“V回”の形で「言ったことを回収する」（→撤回する）、「笑顔を引っ込める」など「取り消し」の意味を表すことになる。

(12) 我收回刚才说的话（《汉语动词用法词典》336）

[私はさっき言った言葉を取り消す]

(13) 及至看清楚，门外站着的是冠晓荷，他的那点笑容突然收回去，脸上立刻显着很黑很硬了。（《四世同堂：惶惑》272）]

[扉の外に立っているのが冠曉荷だと分かると、彼の笑顔は突然消え、顔は急に暗く固くなった]

(14) 因此，必须撤回撤退命令，要各个部队仍在原来阵地死守！

(<http://www.tianyabook.com/renwu2005/js/j/jiepeizhu/zzdt/008.htm>)

[従って、撤退命令を撤回しなければならぬ。各部隊には引き続き元の陣地で死守させること！]

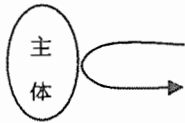
次は視線の例である。

(15) 阿妈的目光从他们脸上收回来，咬着牙迸出一声。（《孽债》339）

[母は視線を彼らの顔から引っ込めると、歯を食いしばって一言発した]

3. 外に押し返す場合

上でみた「元の位置に戻す」（【図1】）、「取り戻す」（【図2】）意味を表す場合には、着点が前景化されていた。これに対し、次の【図3】で示される「押し返す／押し戻す」意味を表す場合には着点は背景化し、方向転換⁵⁾に主眼が置かれる。



押し返す【方向転換】

【図3】

具体例を挙げておく。

(16) 把抗议项回去。(荒川2005: 130)

[抗議をつっぱねた]

(17) 把他的观点驳斥回去 (例 (2) 再掲)⁶⁾

[彼の見解を退ける]

(18) ……还有正鸿刚一说就被玫香堵回去的理论…… (《恋爱的季节》347)

[それから正鴻が口にするとすぐに玫香に退けられる理論があり、]

同様の「押し返す」意味を表す次の二例にみられる“瞪回去”のような視線による働きかけに基づいた発想などは、日本語の複合動詞の語構成にはみられないものである。

(19) 天啊，我真不敢再听了，这条条都是针对我的么？坐在旁边的马麟看着我笑，我狠狠地把他的笑容瞪了回去，…… (http://tieba.baidu.com/f?kz=919111799)

[ああ、本当にもうこれ以上聞きたくない。これら1つ1つはすべて私に対するものなのか。そばに座っていた馬麟が私を見て笑いかけた。私がこっぴどくならみつけると彼は笑顔を引っ込めた]

(20) 我正想哈哈大笑，却看到白素狠狠地瞪了我一眼，把我的笑声瞪了回去，……

(http://www.tianyabook.com/kehuan/nikuang/rmzh/002.htm)

[私がまさにワハハと大笑いしようとしたときに、白素にこっぴどくならまれたので、私は笑い声を引っ込めた]

4. 内に押し返す場合

身体を〈容器〉に見立てた用法は、メタファー研究において広くみられるものである。加えて、中国語では身体部位を媒介とした行為は、しばしばモノの出入りとして方向補語“进、出”を用いて表される (例えば“吃进、花出 (力气)、吐出、呼出、吸进”など)。その後に続く補語“来/去”については、話者の認識との関係から、通常は体内へ方向には「消失」を表す“去”、体外へ方向には「出現」を表す“来”が用いられる。

(21) 梁曼誠深深地叹了口气, 吸进去的烟随之喷了出来: (《孽债》247)

[梁曼誠は深々とため息をついた。吸い込んだタバコの煙が一緒に吐き出された] そして「听进去、看进去、说出来」のような組み合わせからは、「言葉」の有する方向性というものを認識することが可能である。この内から外に向かおうとする対象を「押し戻す」という意味で、「V回(去)」の形が用いられる。ここでいう内から発生する対象には「言葉」(例(22))や「声」(例(20)(23))に加えて、生理現象としての「涙⁷⁾、あくび」ほか(例(24)~(27))、そして「表情」(例(19))や「気持ち」(例(28))といったものが挙げられる。

(22) ……刚要说什么, 听到咳嗽声, 又忍回去了。⁸⁾ (CCL语料库)

[ちょうど何かを言おうとしたとき、咳払いが聞こえたので、また我慢して飲み込んでしまった]

(23) ……有几个驴嘍嘍嘴唇想叫喊, 可是尾巴摆不动, 又噎回去了。

(<http://www.cnread.net/cnread1/xdwx/m/mafeng/llyx/071.htm>)

[ロバの何頭かは唇をとがらせて鳴こうとしたが、しっぽ動くこともなく、また黙ってしまった]

(24) 眼里有泪光慢慢聚集, 将头微微向后仰去, 抬头30°, 这是个把眼泪忍回去的好办法。

(http://vip.book.sina.com.cn/book/chapter_128790_82662.html)

[目の中に涙の光が次第に集まったら、頭をわずかに後ろに傾ける。30度顔を上げる。これが涙を押しとどめるよい方法だ]

(25) 牧乾把个哈欠堵回一半去, 用手轻轻拍着口。(《蛻》449)

[牧乾はあくびを半分かみ殺し、手を軽く口に当てた]

(26) 把嗝儿压回去

[しゃっくりをこらえる]

(27) 把喷嚏憋回去

[くしゃみをこらえる]

(28) 那个小瘦子的嚣张气焰被噎回去了。

(<http://www.eywedu.com/Maodunwj/mdzh/032.htm>)

[そのやせっぼちのはげしい気炎はそがれてしまった]

こうした事象は次のように図式化できる。



主体

【図4】

【図3】【図4】ともに方向転換に主眼が置かれており、【図4】では外に出ようとする対象を押さえつけるという働きかけにより、ブロックというイメージが前景化される。次の例では目や口が、移動の「折り返し地点」として捉えられている⁹⁾。

(29) 几次, 泪已到了眼中, 她都用力的睁她的大眼睛, 把泪截了回去。(《四世同堂: 偷生》167)

[何度か涙が目の中まで到ったが、彼女は力を入れて大きく目を見開き、涙が出るのを食い止めた]

(30) ……这样, 话到舌尖, 他又缩回了, 只是丧气地叹了一口气。(《暴风骤雨》72)

[こうして、言葉が舌先までくると、彼はまたそれを引っ込め、ただ気落ちしてため息をつくだけであった]

(31) 她想说“保护你”, 可是话到嘴边又咽回去了。(《青春之歌》179)

[「守ってあげる」と彼女は言おうとしたが、言葉が口の辺りまで来てまた飲み込んでしまった]

(32) 他本想说辛楣怎会请到自己, 这话在嘴边又缩回去了; 他现在不愿再提起辛楣对自己的仇视, 又加深苏小姐的误解。(《围城》86)

[彼はもともと辛楣がどうして自分まで呼ぶことがあろうかと言おうとし、その言葉が口まで出かけてまた引っ込めた。今は辛楣が自分を敵視することを再び持ち出して、また蘇さんの誤解を深めたくない]

そして、対象の一部がすでに外部に放出されている場合には、中断の意味が前景化される。次の例では動作量(例(33))や対象(例(34)～(36))および状況説明の語句(例(37)(38))などにより、そのことが読み取れる。

(33) 陈大娘把话说了一半又咽回去了, 接着又问, ……(《青春之歌》340)

[陳おばさんは半分だけ話をするともた飲み込んでしまった。そして続けて尋ねた]

(34) 老人半闭着眼说: “今年玩了, 明年可……” 他把后半句话咽回去了。(《四世同堂:

惶惑》140)

[老人は半ば目を閉じたまま言った「今年は遊んだから、来年は…」彼は後の言葉を飲み込んだ]

(35) “什,” 瑞宣把“什”下面的“么”咽了回去。(《四世同堂：惶惑》207)

[“什…” 瑞宣は“什”に続く“么”を飲み込んだ]

(36) “啊——” 他揉着胸口说：“没事！没事！” 他把话收了回去。(《四世同堂：偷生》477)

[“あー” 彼は胸をさすりながら言った「何でもない、何でもない！」彼は言葉を飲み込んだ]

次のような継続を企図する語句（波下線で表示）とともに使われた例も多くみられる。

(37) 他还要告诉山木：……可是，他在操场转了好几个圈子，把想好了的话都又咽回去。

(《四世同堂：偷生》52)

[彼はさらに山木に言ってやりたかった（中略）しかし、彼は運動場をぐるぐると何度も歩き回った挙句、頭の中で考えた言葉を飲み込んでしまった]

(38) 她刚要往下问，一看祥子垂头丧气的样子，车上拉着铺盖卷，把话咽了回去。(《骆驼祥子》54)

[彼女はさらに聞こうと思ったが、祥子のがっかりした様子と車に丸めた布団が積んであるのを目にすると、言葉を飲み込んだ]

言葉を飲み込む行為については「復路」のみを示した“咽下去”の組み合わせが多くみられ、例(33)～(35) および(37)(38)の“咽回去”についても、いずれも“咽下去”と置き換えることができる。

また、語彙的に補語“回”を「遮る」意味を表す述語動詞とともに用いることもできる(例(29)もあわせて参照)。

(39) “别插嘴，听她说！” 大赤包把他的的话截回去。(《四世同堂：偷生》296)

[「口を挟まないで、彼女の言うことを聞きなさい。」カラスウリは彼の話のをさえぎった]

(40) 神父本也想笑一下，可是被一点轻蔑的神经波浪把笑拦回去。(《四世同堂：惶惑》70)

[神父もはじめ笑おうとしたが、わずかな軽蔑の神経の波により笑いがさえぎられた]

上でみた「言葉」とは異なり、「涙」については「流れ出る」の前段階である「目にたまった」状態をも出現として捉えることができるため、次の例においては、中断ではなく未放出の状態に対して、「收」[しまう]や“截”[さえぎる]といった動詞が使われている。

- (41) 祁老人一气说完, 小眼睛里窝着两颗泪。……来到院中, 他故意的夸奖那些石榴, 好使祁老人把眼泪收回去。(《四世同堂: 惶惑》146)

[祁老人は一気に言い終えると、小さな目には涙がたまっていた。(中略) 中庭まで来ると、彼はわざわざザクロをほめて、祁老人の涙を引込めようとした]

- (42) 她的泪马上在眼中转, ……她想控制住自己, 用一点最不近情理的笑, 把泪截回去。(《火葬》455)

[彼女の涙はすぐに目の中ぐるぐる回った。(中略) 彼女は自分を抑制しようとした。わずかな情理とは言いがたい笑いで、涙をこらえた]

5. おわりに

以上みたように、補語“回”自体の用法はあくまでも方向義で解釈できるものであり、抽象的な派生義への広がりは見られないものの、言葉、笑い、涙などに方向性を見出して、その取り消しや抑制を“V回”の形で比喩的に表現するという点に、他の方向補語の用法とはまた別の難しさを見出すことができるといえよう。

注釈

- ただし、「戻ってくる」ものが同じであるかどうかという点において、中国語の“回”は必ずしも日本語の「戻る／戻す」などとは対応しない。例えば
 - 一两人参只换回一套衣服 (《汉语动词用法词典》172)
[50グラムのニンジンで服1着にしかならなかった]
 - 我让他一到目的地就给我拍回一封电报 (《汉语动词用法词典》269)
[私は彼に目的地に着いたらすぐに電報をくれるように言った]aではニンジンが戻ってくるわけではなく、bでは彼が電報を打ち返すわけではない。こうした事象に関する考察は荒川2005、丸尾(準備中)などを参照。
- 刘月华主编1998は方向補語の文法的意味を“趋向意义”[方向義]、“结果意义”[結果義]、“状态意义”[状態義]という3つに区分している。本稿でいう「派生的な意味」とは後

二者のことである。

- 3) この点で荒川2005:139の指摘にあるように、中国語の“买回来”とその日本語訳として充てられる「買って帰ってくる」では、移動するものが異なる。しかも、中国語では買ったものは「元の場所に戻る」わけではない（「買い戻す」の意味では戻ることになる）。杉村1991、丸尾（準備中）もあわせて参照。
- 4) 【図1】および【図2】では、対象物が元の場所からそれ以外の場所に移動した過程については不明あるいは問題となっていない（背景化している）ということを示した。
- 5) “回身、回头、回首”〔(後ろを) 振り向く〕などにみられるように、ある特定の目的語との組み合わせにおいて、動詞“回”はそれ自体で「向きを変える」という意味を有する。
- 6) “驳回”[却下する]は辞書では一語の動詞として扱われている。《現代汉语词典》(第5版)におけるピンイン表記も“收回shōu//hui”[撤回する]のような場合とは異なり、間に「//」のない“bóhui”となっている。
- 7) 例えば、涙は“涌上来、淌出来、流下来、掉下来”といった動きで表される。
- 8) 刘月华主编1998は各種方向補語について、豊富な具体例を示しつつ、その用法を体系的に説明した実用的な文法書である。ただし、例えば“回去”と結び付くものとして“可使物体改变位置的动作为动词”(266頁)という区分を設けた上で、その具体例として“搬、抱”などに加えて(本稿でも挙げた)“忍、瞪”を挙げているものの、この「位置変化」というものは“忍回去、瞪回去”というフレーズが表すものであり、動詞自身のもつ特徴だとは言いがたい。
- 9) 言葉や涙の着点を示した“噎回肚子里”[腹の中に戻す]のような表現がみられる。

用例出典

老舍《骆驼祥子》，人民文学出版社（1989.9）。

老舍《火葬》，《老舍文集》（第3卷），人民文学出版社（1993.3）。

老舍《四世同堂：惶惑》，《老舍文集》（第4卷），人民文学出版社（1993.3）。

老舍《四世同堂：偷生》，《老舍文集》（第5卷），人民文学出版社（1993.3）。

老舍《蜕》，《老舍文集》（第9卷），人民文学出版社（1993.3）。

钱鍾书《围城》，人民文学出版社（1993.5）。

王蒙《恋爱的季节》，人民文学出版社（1993.4）。

杨沫《青春之歌》，《杨沫文集》（第1卷），北京十月文艺出版社（1992.8）。

叶辛《孽债》。江苏文艺出版社（1995.4）。

周立波《暴风骤雨》，人民文学出版社（1994.6）。

侯精一等编著2001.《中国语补语例解》（日文版），田中信一等译，商务印书馆。

黄南松・孙德金主编2000.《HSK词语用法详解》，北京语言文化大学出版社。

孟琮等编1999.《汉语动词用法词典》，商务印书馆。

北京大学中国语言学研究中心 CCL语料库检索系统

（“CCL语料库”以外のインターネットからの用例についてはURLを記した）

参考文献

荒川清秀2005.「“买回来”と“寄回来” — 中国語における他動詞＋方向補語の構造 —」,『中国語学』252号。

丸尾誠（準備中）.「中国語の動補構造“V回（来／去）”について」。

野村益寛2002.「〈液体〉としての言葉 — 日本語におけるコミュニケーションのメタファ一化をめぐる」,『シリーズ言語科学3 認知言語学Ⅱ:カテゴリー化』東京大学出版会, pp.37-57。

杉村博文1991.「『買って帰る』と『買い戻す』」,『中国語学習Q&A101』,大修館書店, pp.107-109。

刘月华主编1998.《趋向补语通释》，北京语言文化大学出版社。